

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

| 達成度（評価） | |
|---------|-------------|
| A | 十分達成できている |
| B | おおむね達成できている |
| C | やや不十分である |
| D | 不十分である |

| | |
|-----|-----------|
| 学校名 | 有田町立有田中学校 |
|-----|-----------|

| | |
|------------------|--|
| 1 前年度 評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・「不登校対策」として、相談体制や環境を整備したこと、定期的な情報共有の場を設定したことで、個々に応じた支援ができ、登校できるようになった生徒が増加した。しかし、依然として不登校になる生徒もいるので、継続して支援体制を改善しながら取り組む。 ・学習規律「自主・自立する有田っ子」や「授業づくりのステップ 1・2・3」を意識した授業が定着してきた。授業公開や授業研究会を充実させ、二極分化している学力を向上させる指導法の研究を継続して行う。 |
|------------------|--|

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 2 学校教育目標 | 郷土を愛し、未来を切り開く健やかな体と豊かな人間性・創造性を持つ生徒の育成 |
|----------|---------------------------------------|

| | |
|------------|---|
| 3 本年度の重点目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・「不登校対策」の体制を継続・充実させることで、不登校生徒の削減を目指す。 ・「学びあう活動」「書く活動」「ふりかえり」の充実を通して、自分の考えを筋道を立てて豊かに表現できる生徒を育成する。 |
|------------|---|

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

| (1)共通評価項目 | | | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | |
|--------------------|--|--|--|-------------|------|---------|-------|
| 評価項目 | 重点取組 | | 具体的取組 | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 |
| | 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | | | | | |
| ●学力の向上 | ●全職員による共通理解と共通実践 | ●学力向上対策評価シートに示したマイルランの成果指標を達成した教師の割合80%以上 | ・「めあて・ふり返りの充実」や「学び合う・書く活動の充実」を図るための校内研修を実施する。 | | | | |
| ●心の教育 | ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒の割合70%以上 | ・授業で使用した教材や生徒の感想の掲示 ・学期毎の「つなぐ」を発行 | | | | |
| | ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 | ○いじめ防止等(いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができておりと回答した教師の割合80%以上 | ・毎月の生徒用アンケートの実施と、毎週の生徒指導部会や毎学期の生徒指導協議会等の連絡会を通して、生徒の動きに敏感にアンテナを張れる環境づくりを促進する。 | | | | |
| | ◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動の実践 | ◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒の割合75%以上 | ・キャリア・パスポートの作成を通して、各種体験活動における振り返りの充実を図る。 ・進路を見通すことができる、中学校3年間を見据えた進路学習を進める。 | | | | |
| ●健康・体づくり | ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 | ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上 | ・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・栄養教諭と連携し、各学年の発達段階に合った授業の実施 | | | | |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。 | ・日々の超過勤務時間を正確に記録し、計画的な勤務を行う。 ・定時退勤日の確実な実施。 ・水曜日、土日どちらかの部活動休養日の確実な設定。 | | | | |

| (2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | |
|----------------------|--------------------|--|---|-------------|------|---------|-------|
| 評価項目 | 重点取組 | | 具体的取組 | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 |
| | 重点取組内容 | 成果指標 (数値目標) | | | | | |
| ○不登校対策 | ○生徒が安心して通える学校環境づくり | ○不登校生徒の不登校日数が前年度比20%減が図れた生徒の割合を20%とする。 | ・SC、SSW、適応指導教室等、関係機関との連携を図る。 ・年2回の教育相談週間の実施。 ・気になる生徒の情報交換を定期的に行い、状況や対応等について共通理解を図る。 | | | | |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

| | |
|--------------------|---|
| 5 総合評価・ 次年度への展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ |
|--------------------|---|